

JAIわて平泉の自己改革へのさらなる挑戦

～組合員とともに食と農を通じた豊かな地域社会を築く～

J Aグループは「農家組合員の所得増大・農業生産の拡大」「地域の活性化」「結びつき強化」を基本目標に自己改革に取り組んでいます。J Aの自己改革について再確認し、着実に実践し、基本目標へのさらなる挑戦と達成に向け組合員・地域の皆さんとともに歩んでいきます。

本特集では、次のステージへと向かうため、これまでの取り組みと成果の一部を振り返ります。

J Aいわて平泉は協同組合精神のもと、営農指導はもとより販売、購買、信用、共済など総合的な事業への取り組みで、農家組合員とその家族、地域に暮らす人々と「食」と「農」を基軸とした活動を通じて歩みを共にしてきました。

合併5年目となる平成30年度は、第二次中期経営計画（3カ年計画）の2年目であり、最重要施策として掲げた「農家組合員の所得増大と生産拡大」の実現に向け、「黄金の郷づくり推進対策事業」を中心に地域農業の振興に向けた事業の積極的な展開と、生産資材におけるコスト低減に向けた水稻農薬の価格対策に引き続き取り組むなど、各種事業を展開してきました。

平成31年度は中期経営計画の最終年度を迎えます。J Aの強みである総合事業を生かし、引き続き各種事業を展開しながら自己改革を進めていきます。

1. 農業 農家組合員の所得増大と農業生産の拡大

①農業生産工程管理（GAP）の認証取得

- ・「金色の風」栽培研究会のメンバーが、ASIAGAPと岩手県版GAPの認証を取得
⇒ 安全・安心な「いわて平泉米」の生産と付加価値を高めた販売が可能に

②夏川カントリーエレベーターが完成

- ・コメ卸からも要望の強いフレコン出荷の拡大
⇒ 荷受時間の短縮も図られ、刈り取り作業の迅速化に貢献するとともに、JAIわて平泉米の販売力強化が図られます

今後の展開

- ◇あぜみち相談会等による高品質・良食味米生産に向けた栽培管理の徹底を図ります
- ◇園芸ハウス設置を積極的に進め、園芸品目の販売数量と販売金額の拡大を図ります
- ◇黄金の郷づくり推進対策事業や各種補助事業を積極的に活用し、生産性の高い畜産経営体の育成を図ります



2. 暮らし

地域の活性化と結びつきの強化

①学校農園・学習田への支援

- ・希望するJA管内の小中学校に対し無償で野菜苗の提供を行い、JA女性部やJA青年部が中心となり、栽培指導や水田学習の支援を実施
⇒ 地域農業への興味や関心を持つきっかけづくりと、将来のJAや地域農業の応援団を育成しています

②地産地消の拡大

- ・JA管内の農畜産物を学校給食へ提供（平成30年度より地産地消課を新設）
⇒ 地元食材への認知度向上を図っています

③地域の生活インフラの一翼を担う

- ・地域利用者への一層の貢献・関係強化への取り組み
⇒ 支店窓口などで農畜産物をプレゼントする企画を通じ、組合員や利用者との関係性の強化を図っています
- ・出向く活動の充実を図るため「声を聞く活動」を展開
⇒ 担い手サポート情報などの提供と提案で、経営計画の策定に一役。農業経営向上の支援をしています

今後の展開

- ◇JA女性部とJA青年部を中心とした食農教育や体験学習への積極的な支援を図ります
- ◇組合員や利用者ニーズに即した事業展開で、しっかりと農業を支える農業メインバンク機能の発揮と、生活メインバンク機能の充実・強化を図ります
- ◇土・日・祝日も対応する中央相談センター（各種ローン相談、賃貸アパート、旅行など）を開設し、利便性の向上に努めます



3. 経営

組合員に評価される組合経営

①指導部門の一元化

- ・2カ所に分かれていた営農部、畜産部を平成30年5月に川崎の営農振興センターに集約
⇒ 指導事業の機能・体制の強化が図られ、販売目標達成に貢献

②組合員の声を聞く活動

- ・組合員の意見や要望をJA事業に反映させるため、組合員座談会や地区運営委員会などを実施
⇒ JA事業へ参画し、より良いJAづくりにつなげています

今後の展開

- ◇支店を平成31年6月に再編し経営基盤の強化を図ります
- ◇地区・総合運営委員会、春季組合員座談会を開催し、支店再編後の空き支店の利活用等について検討を行います



総合事業だからできる地域応援

1. 総合事業で組合員や地域の豊かな暮らしを応援



JAいわて平泉は、指導事業、経済・販売事業、信用事業、共済事業、厚生事業、その他事業と、皆さまの営農やくらしのあらゆる面に役立てていただけるよう「総合事業」を行い、豊かな暮らしを応援しています。

2. 地域農業への投資



正・准組合員、地域の皆さまが事業を利用することで得られた利益は、地域農業の発展のために使わせていただいています。皆さまがJA事業を利用することは地域農業の振興につながり、食と農を通じて皆さまの生活を豊かにすることで還元されていきます。

3. 安全・安心な農畜産物の提供



JA管内で生産された農畜産物は、市場へ出荷されます。その他、JAファーマーズいわて平泉の直売所で購入できるほか、学校給食にも食材を提供しています。地域農業の発展は、地元で採れた新鮮で安全・安心な農畜産物を皆さまの食卓に届けることにつながります。

4. 見て触れて体験し、地域農業を応援



JAは、管内の幼稚園や小中学校を対象にした食農教育に力を入れています。普段食べている食べ物がどのように生産されているのか、見て触れて体験し味わうことで興味や関心へつながり、将来の地域農業の応援団の育成へとつながります。